

【町長】

<p>通告順</p>	<p>1</p>	<p>質問 議員</p>	<p>鵜野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>スマート農業による省力化、人手の確保、負担の軽減対策</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>現在の日本は世界でも有数の少子高齢社会であり、多くの産業、業種において労働力不足が深刻化しています。中でも農業はその影響を受けやすく、さらに後継者不足と新規就農者の減少もあり、慢性的な人手不足が一段と深刻さを増している状況です。</p> <p>本町においても、農家戸数の減少による耕作面積の大規模化や高齢化が進行し、農地の集積も限界に近づき、今後はさらに新規就農希望者、農業後継者が減少傾向になることが予想され、各産業において労働力不足が深刻化する中で、農繁期における労働力の確保がより一層、難しくなっている。</p> <p>沼田町第6次総合計画においても前期、後期基本計画にも現状と課題の中でも、労働力の確保とスマート農業の導入による省力化が必要とあり、それに向けての対策事業はあるが、事業効果が十分に発揮されてなく、さらに労働力不足が農業経営の根幹を左右しかねない状況と考えられます。</p> <p>基幹産業としての農業を継続させるためにも、労働力確保対策が重要課題と考える。</p> <p>労働力の確保対策</p> <p>人材派遣、外国人実習生などの労賃が以前から見るとほぼ倍近くになっていますが働き手が見つかりにくい環境になっています。さらに、賃金が高額なため農家が利用しづらくなっています。</p> <p>このことから、スムーズな労働力の確保対策を事業として取り組めないか。</p> <p>全農家がスマート農業を利用できる環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業技術の活用は農作業の負担軽減と省力化がはかれるが初期投資の負担が大きく、今のICT事業では利用しづらい状況です。 ・RTK（地上の位置を補正する基地局）においては、データ受信が出来ない地域もあり、また基準局からの距離があるため、補正の精度が低くなっています。 <p>全農家がスマート農業を利用出来る応援事業が取り組めないか。</p>		

【町長】

<p>通告順</p>	<p>2</p>	<p>質問 議員</p>	<p>伊藤議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>葬式に利用しやすい町民会館の改修が必要では</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>近年、町外の会場における葬式が全体の半数以上と推察します。町外での葬式では、距離的な問題や冬道運転の不安から高齢者の方は大変苦勞をして参列していると考えます。</p> <p>また、火葬場が深川市にあることから、本町で人生を過ごされた故人に、最後にふるさとの地を見せてあげたいというご家族の気持ちがままならない状況もあると感じています。</p> <p>現在、寺院を除き葬式に適した会場が本町に数少ないことから、町民会館の機能を充実させ、どのような季節であっても町民が安心して利用できる施設が必要と考えます。</p> <p>町民会館を利用する場合、駐車場は狭く変形しているため脇道に駐車する方や暮らしの安心センターの駐車場から歩いて来られる方もいるので、駐車場の確保も必要と考えます。</p> <p>町内の寺院などへの配慮は必要ではありますが、やむを得ず町外の葬儀会場を利用する方、そして、町内の会場において御見送りしたいという町民の気持ちに応えることが、町民に寄り添った施策になると考えますので以下を質問致します。</p> <p>1. 令和3年から令和5年において、町内と町外で行われた葬儀の件数は 2. 町民会館の改修により葬儀に利用しやすくする駐車場や設備、機能充実の必要性をどのように考えているか</p>		

【町長】

通告順	3	質問 議員	上野議員
質問 項目	学力を高めてどのような子どもを育てたいのか		
質問 内容	<p>11月8日の北海道新聞紙上に「文部科学省が4月に行った全国学力・学習状況調査」の結果が発表されました。</p> <p>教科別で平均正答率が全国を上回った空知管内の市町名がありましたが、沼田町の記載はありませんでした。</p> <p>しかし、順位よりもどのように学力を向上させるのかが大事だと思います。</p> <p>新聞紙上では、空知管内も含め他管内の成果を挙げている事例の記載がありましたが、沼田町は来年度以降どのような取り組みをして、学力向上対策に取り組むのか、また、学力を高めてどのような子どもを育てたいのか、目的、目標について町長の考えをお聞かせ願いたい。</p>		

小6算数全道上回る

中3は全教科平均以下

学力テスト 空知管内

道教委が7日公表した本年度の全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の管内別平均正答率で、空知管内では全道平均を上回ったのは小6の算数のみで、小6の国語と中3の3教科では下回る結果となった。自治体別では、月形町と歌志内市、南幌町が全教科で全道、全国平均を上回った。

学年	教科	空知	全道	全国
小6	国語	64.8	65.8	67.2
	算数	61.2	61.0	62.5
中3	国語	66.8	69.4	69.8
	数学	46.8	49.3	51.0
	英語	42.2	43.9	45.6

小6	国語	秩父別(78)、月形(77)、雨竜(74)、歌志内(73)、南幌(73)、赤平(71)、深川(69)、新十津川(68)、由仁(68)
	算数	秩父別(80)、月形(75)、深川(69)、雨竜(68)、歌志内(68)、赤平(68)、南幌(65)、浦臼(64)、栗山(63)
中3	国語	月形(86)、浦臼(80)、雨竜(75)、歌志内(75)、南幌(75)、妹背牛(75)、秩父別(73)
	数学	月形(73)、浦臼(69)、妹背牛(59)、歌志内(58)、南幌(55)、秩父別(55)、三笠(55)、雨竜(54)、岩見沢(52)
	英語	月形(73)、浦臼(59)、歌志内(57)、妹背牛(54)、南幌(52)

月形、歌志内、南幌は全国以上

学力テストは小6と中3を対象に4月に実施。管内では56小学校の1630人が、38中学校の1619人が受けた。中3英語は4年ぶりに実施され、筆記のほか、音源を聞き自分の音声を録音するなどして「読む・聞く・書く・話す」の4技能を測った。

管内の平均正答率は小6の算数が61・2%で全道平均を0・2%上回ったが、国語は64・8%で1・0%下回った。全国平均より算数は1・3%、国語は2・4%ともに低かった。

中3は数学が46・8%で全道平均より2・5%、国語は66・8%で2・6%低かった。3教科とも全国平均より3・0〜4・2%下回った。

月形町は中3の3教科すべてで全国平均より15・0%以上上回った。特に英語では全国平均より27・4%高く、古谷秀樹教育長は「対話学習で実用的な力を養え、読み書きだけでなく話す・聞くの力もついているのではないかと話す」。

同町は2016年から小学校入学前からの英語教育を行い、こども園に外国語指導助手（ALT）などを派遣。小学校入学後は学級担当とALTのほか、低学年では塾講師、高学年では中学の英語教諭を含めた3人体制で指導する。

また、英検の指定する級に合格した小中高校生に短期留学の費用を助成する制度も導入し、ほぼ毎年中学生が2週間程度の留学をしている。歌志内市も英語で全国平均より11・4%大きく上回った。同市も小学校入学前の英語教育を行っている。

空知教育局によると、管内の全小中学校で全国学力テスト実施後に自校で採点を行い「苦手分野の克服に各校が取り組んでいる」という。（久川凌生）